

令和5年度予算の概要 — 下水道事業会計 —

1 予算編成の基本方針

下水道事業では、将来においても安定的に事業を継続していくため、100年後の将来像を見据えて策定した「あまがさき下水道ビジョン2031」（令和4～13年度）に基づき、取組を進めています。

ビジョンの2年目である令和5年度におきましては、ストックマネジメント手法を取り入れた、管きよの改築更新、各施設の整備等に取り組むとともに、避難所となる小学校へのマンホールトイレの設置、雨水ポンプの排水能力の増強などの取組を重点化して予算編成を行いました。また、老朽化する施設の更新を行うため、東部雨水ポンプ場の建替えに係る基本計画の策定についても進めてまいります。

2 予算の規模

(税込、単位:千円)

区 分		令和5年度	令和4年度	増減額	増減率	
収益的 収支	経常 損益	収入	13,398,266	12,896,134	① 502,132	3.9%
		支出	12,659,769	11,772,932	② 886,837	7.5%
		差引	738,497	1,123,202	△ 384,705	
	特別 損益	収入	1	1	0	0.0%
		支出	4,000	4,710	△ 710	△15.1%
		差引	△ 3,999	△ 4,709	710	
合 計 (当年度純利益)		734,498 ③ (496,702)	1,118,493 (845,386)	△ 383,995 (△ 348,684)		
資本的 収支	収入	4,357,164	4,734,886	④ △ 377,722	△8.0%	
	支出	8,712,112	8,861,801	⑤ △ 149,689	△1.7%	
	差引	△ 4,354,948	△ 4,126,915	△ 228,033		
補てん財源		4,494,736	4,877,329	△ 382,593	△7.8%	
資金収支	年間	139,788	750,414	△ 610,626		
	累計	⑥ 14,441,784	14,301,996	139,788		
企業債残高		27,313,607	27,800,961	△ 487,354		

収益的収入では、有収水量が前年度に比べ、水道の利用者で1.4%減少するものの、工業用水ユーザーなどでは8.8%増加すると見込んでおり、下水道使用料全体では、5千万円の増加を見込んでいます。その他の収入では、動力費の増加により、雨水処理負担金が増加することなどから、収入全体では5億円増加(①)する見込みとなっています。一方、収益的支出では、電気料金の高騰に伴う動力費の増などにより、支出全体で8億9千万円増加(②)することから、令和5年度の純利益は、前年度に比べ3億5千万円減となる5億円(③)を見込んでいます。

次に、資本的収入では、国庫補助金の対象事業の減などにより前年度に比べ3億8千万円の減少(④)を見込んでおり、資本的支出では、公共下水道整備費の減などにより1億5千万円の減少(⑤)となっています。

資金収支については、年度末の資金残高が144億4千万円(⑥)となる見込みです。

3 業務の予定量

区 分	令和5年度	令和4年度	増減	増減率
有 収 水 量 ※	53,386 千m ³	53,483 千m ³	△ 97 千m ³	△ 0.2 %

※ 有収水量＝下水道に流入する汚水のうち、使用料収入の対象となる水の量

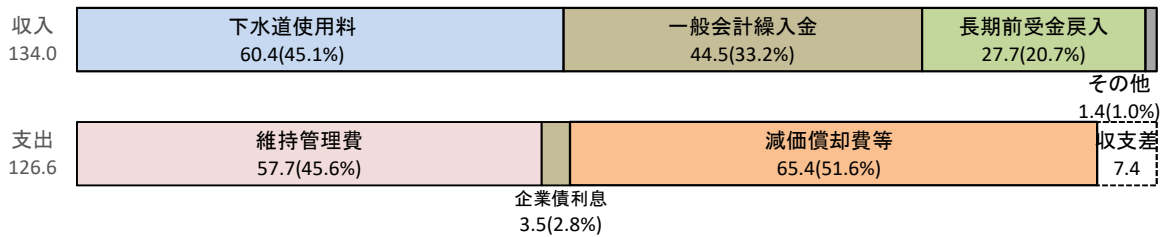
《有収水量・下水道使用料の推移》



4 予算の構成

(1) 収益的収支（事業管理・運営にかかわる収支）

税込、単位：億円、()内は構成比



(2) 資本的収支（施設の建設・改良などにかかわる収支）

